

決算説明資料

1Q FY2026



株式会社スカラ 2025年 11月 14日

CONTENTS

- **エグゼクティブサマリー**
- スカラグループについて
- 連結 業績報告
- セグメント別 業績報告
- トピックス

2026年6月期1Q連結業績

※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

2026年6月期 1Q連結業績	売上収益	1,863百万円	1Q計画値に対して+53百万円(+2.9%) 前年同期比較で+15百万円(+0.8%)と微増で推移。
	営業利益	▲72百万円	1Q計画値に対して+8百万円 前年同期比較で▲103百万円の減少。
事業進捗	DX事業	スカラコミュニケーションズは人財サービスをはじめ、既存サービスの月額ストックは堅調に推移するも、WEBサービスの一時売上が減少した。 エッグはふるさと納税事業はポイント廃止による駆け込み需要の影響でBPO案件が伸長。ふるさと納税事業のシステム保守が大幅に減少したことに加え、国策事業におけるシステム開発の先行投資がコスト増加の要因となった。	
	人材事業	アスプラのイベント事業およびGeaRemakeの中途採用領域は好調。紹介事業は需要が高いものの前期の会員数減少の影響を受けて売上が減少。	
	TCG事業	スカラプレイスで中核タイトルおよび海外直接配送サービスが順調に推移。物流拠点移転に伴う一時的なコスト増加により営業利益が減少。	

CONTENTS

- エグゼクティブサマリー
- スカラグループについて
- 連結 業績報告
- セグメント別 業績報告
- トピックス

会社概要

会社名	株式会社スカラ(東証プライム証券コード:4845)
所在地	東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ32F
設立年月日	1991年12月11日
事業内容	DX事業／人材事業／TCG事業／インキュベーション事業
従業員	411名(2025年9月末時点 連結)
平均年齢	35.7歳
拠点	東京、大阪、愛知、鳥取、沖縄
資本金	1,794百万円
決算期	6月30日



事業構成

2025年10月末時点

DX事業	 株式会社スカラコミュニケーションズ	SaaS/ASPサービス関連事業、 ソフトウェア・プロダクトの開発・販売・保守 エンジニア派遣/内製支援	☒ 民間企業向け ☐ 生活者向け ☒ 自治体・政府向け ☐ 投資
	 株式会社エッグ	国策事業、ふるさと納税事業、 ヘルスケア事業、地域創生事業	☒ 民間企業向け ☐ 生活者向け ☒ 自治体・政府向け ☐ 投資
	 株式会社スカラサービス	コールセンターサービス	☒ 民間企業向け ☐ 生活者向け ☐ 自治体・政府向け ☐ 投資
人材事業	 株式会社アスプラ	人材採用(新卒採用)支援、 学生向けキャリア教育事業	☒ 民間企業向け ☐ 生活者向け ☒ 自治体・政府向け ☐ 投資
	 株式会社GeaREmake	人材採用(中途採用)支援	☒ 民間企業向け ☐ 生活者向け ☐ 自治体・政府向け ☐ 投資
TCG事業	 株式会社スカラプレイス	トレーディングカードゲーム(TCG)の リユースECサイト 「カードショップ -遊々亭-」運営	☐ 民間企業向け ☒ 生活者向け ☐ 自治体・政府向け ☐ 投資
インキュベーション事業	 株式会社スカラ	戦略投資事業 共創型M&Aアドバイザリー	☒ 民間企業向け ☐ 生活者向け ☐ 自治体・政府向け ☒ 投資
	 株式会社ソーシャル・エックス	官民共創プラットフォーム「逆プロポ」の 企画運営、社会課題の解決を目的とした 新規事業開発支援	☒ 民間企業向け ☐ 生活者向け ☒ 自治体・政府向け ☒ 投資

CONTENTS

- エグゼクティブサマリー
- スカラグループについて
- **連結 業績報告**
- セグメント別 業績報告
- トピックス

1Q決算サマリー

単位：百万円

※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績
※営業利益は本社費配賦・全社費用等を含む

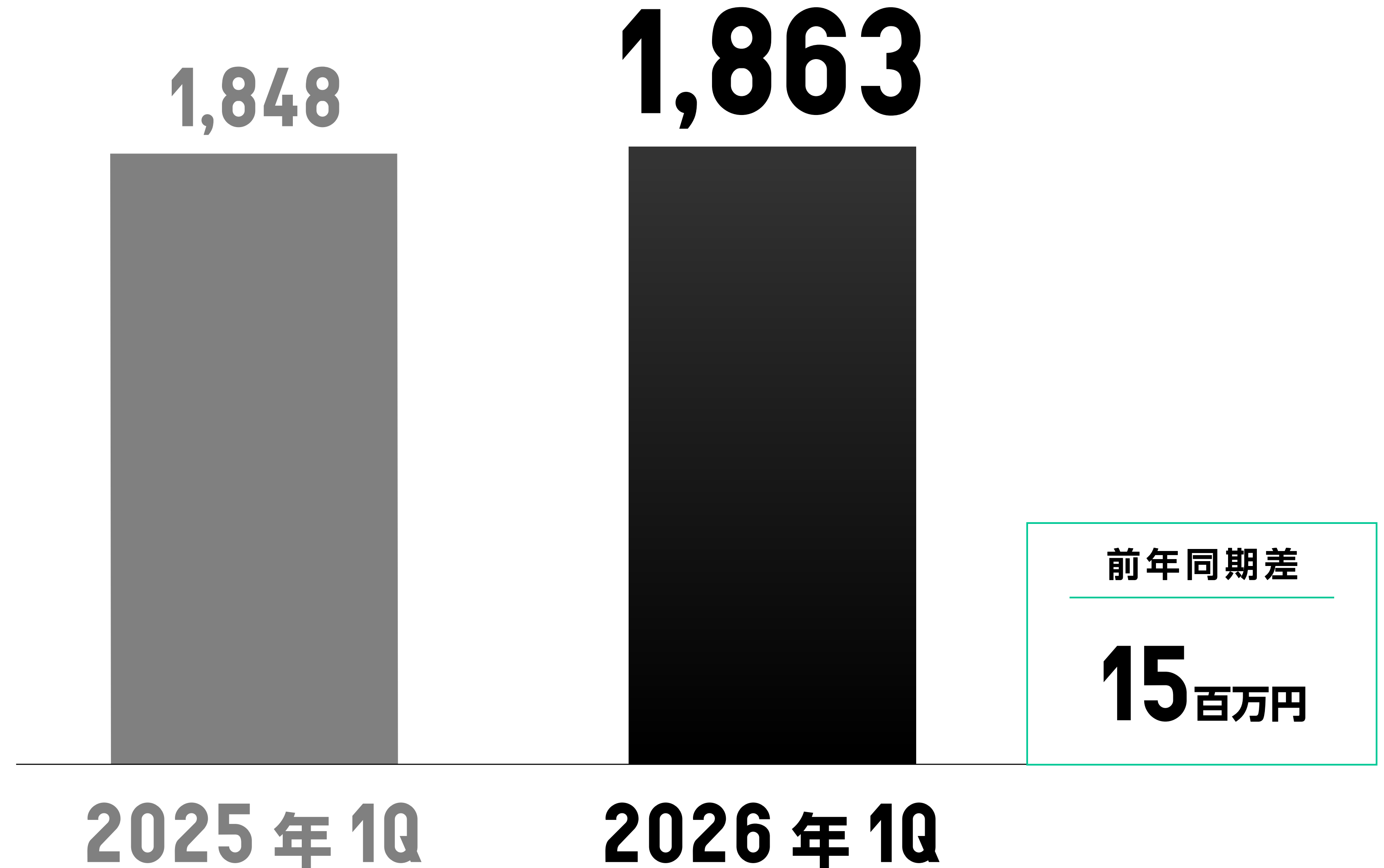
	今期実績		前期実績		前年同期比		通期予想	
2026年6月期 第1四半期実績	売上 営業	1,863 ▲72	売上 営業	1,848 30	0.8% —	各種事業の伸長により売上は前期実績および 1Q計画値を上回る 営業利益も1Q計画値を上回る	売上 営業	8,800 630
D X 事業	売上 営業	1,035 26	売上 営業	1,042 105	▲0.7% ▲74.9%	売上は前期と同水準、営業利益はインフラ増強など 先行投資により減益、両者とも計画値を上回って着地	売上 営業	4,950 410
人材事業	売上 営業	193 ▲8	売上 営業	189 3	2.0% —	前期の会員数減少の影響を受けるものの、 計画値は達成	売上 営業	1,150 190
TCG事業	売上 営業	586 63	売上 営業	562 78	4.3% ▲19.4%	売上は前期実績および計画値を上回る 営業利益は一時的なコスト増加により減少	売上 営業	2,470 350
インキュベーション事業	売上 営業	48 ▲28	売上 営業	54 ▲28	▲10.1% —	一部案件の期ずれを受け、 売上は前期実績および計画値を下回る	売上 営業	250 ▲20

連結業績

コメント

人材事業・TCG事業が伸長し、
グループ全体での連結売上
収益は計画値通り着地

売上収益 単位：百万円



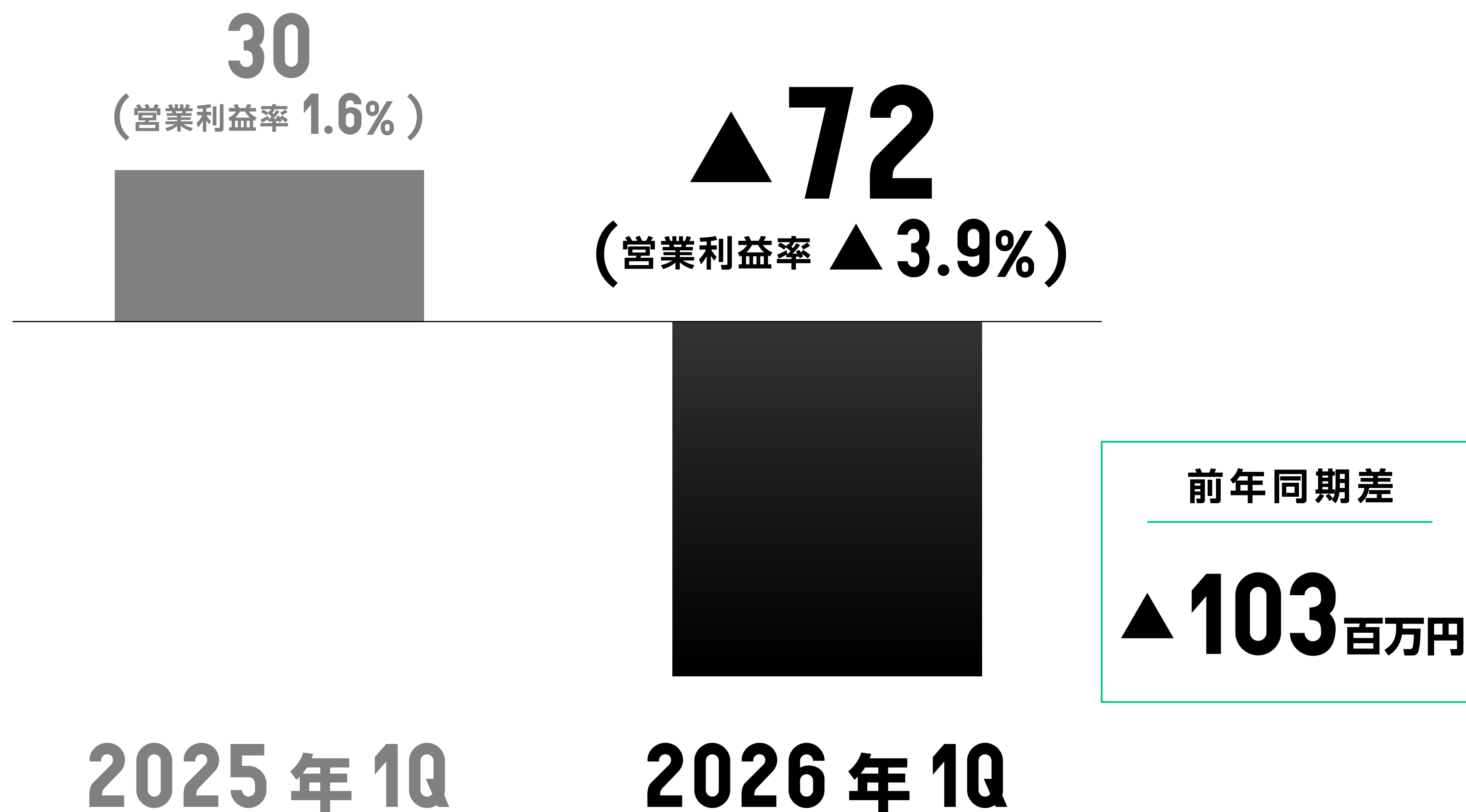
※売上収益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

連結業績

コメント

各事業の先行投資などにより、営業利益は前年同期比で減少するものの、1Q計画値通りに着地

営業利益 単位：百万円



※売上収益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

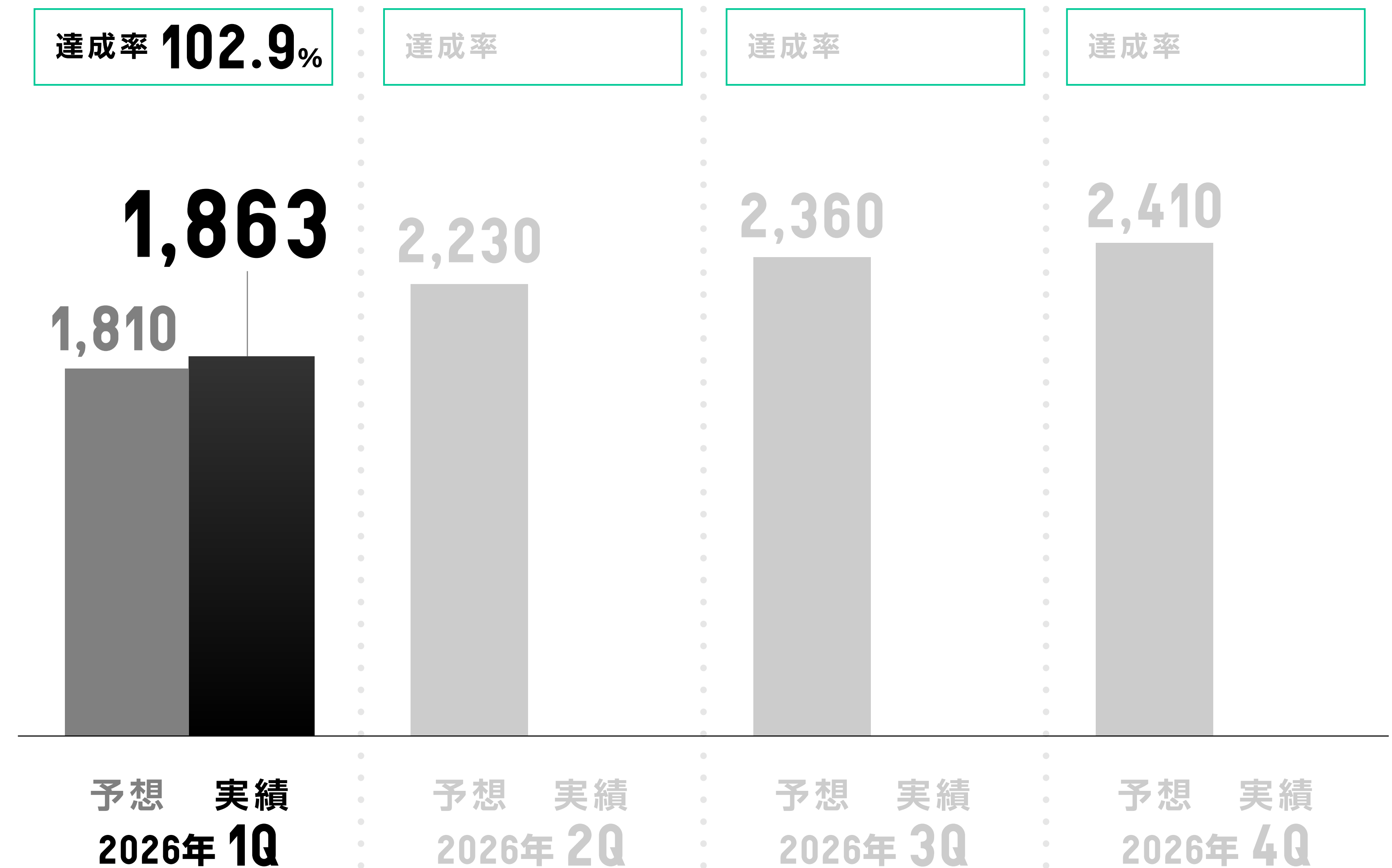
四半期別 連結業績予想 および実績

コメント

概ね計画値通りに進捗

※売上収益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

売上収益 単位：百万円



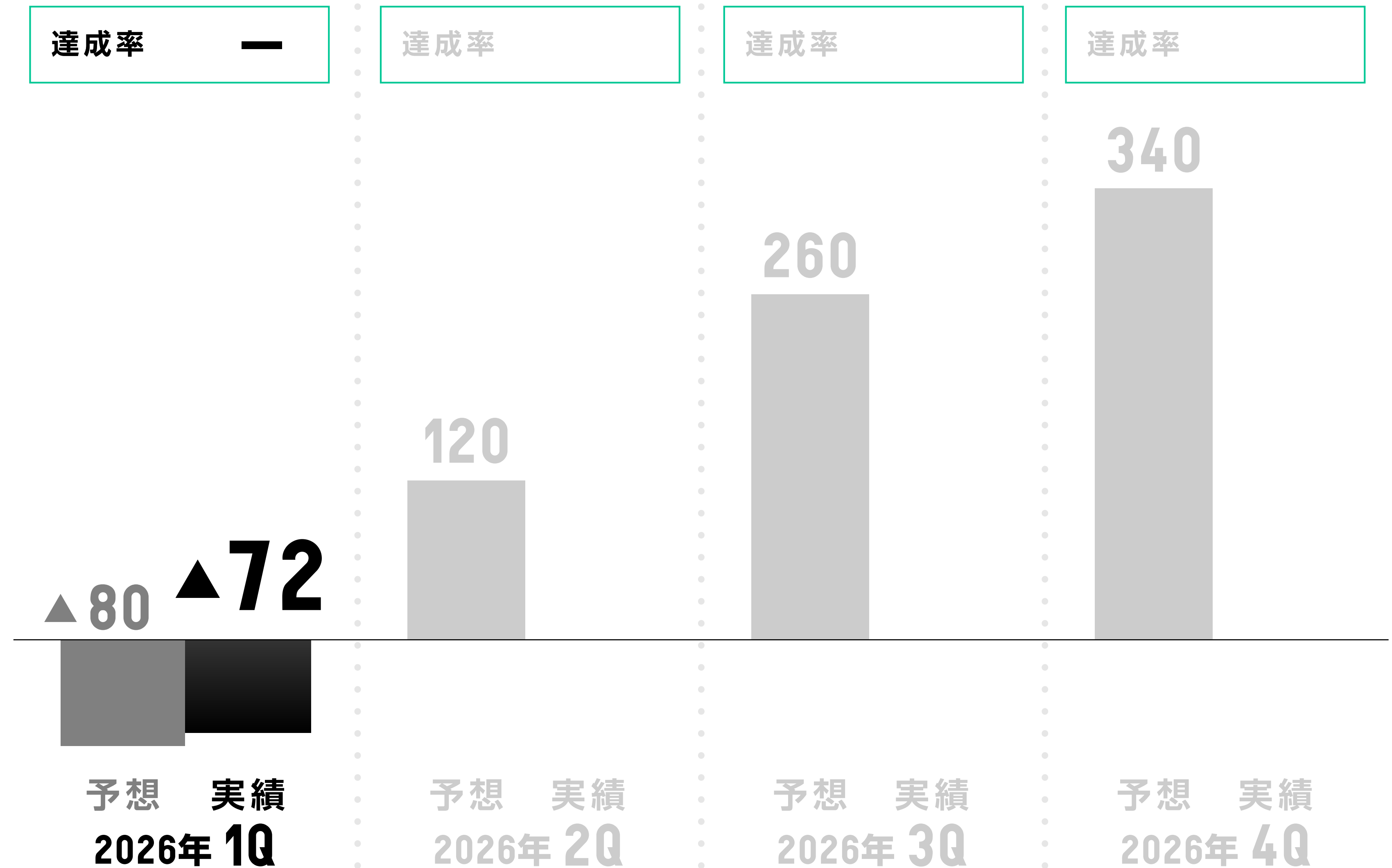
四半期別 連結業績予想 および実績

コメント

1Q計画値を上回って着地

営業利益

単位：百万円



※売上収益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

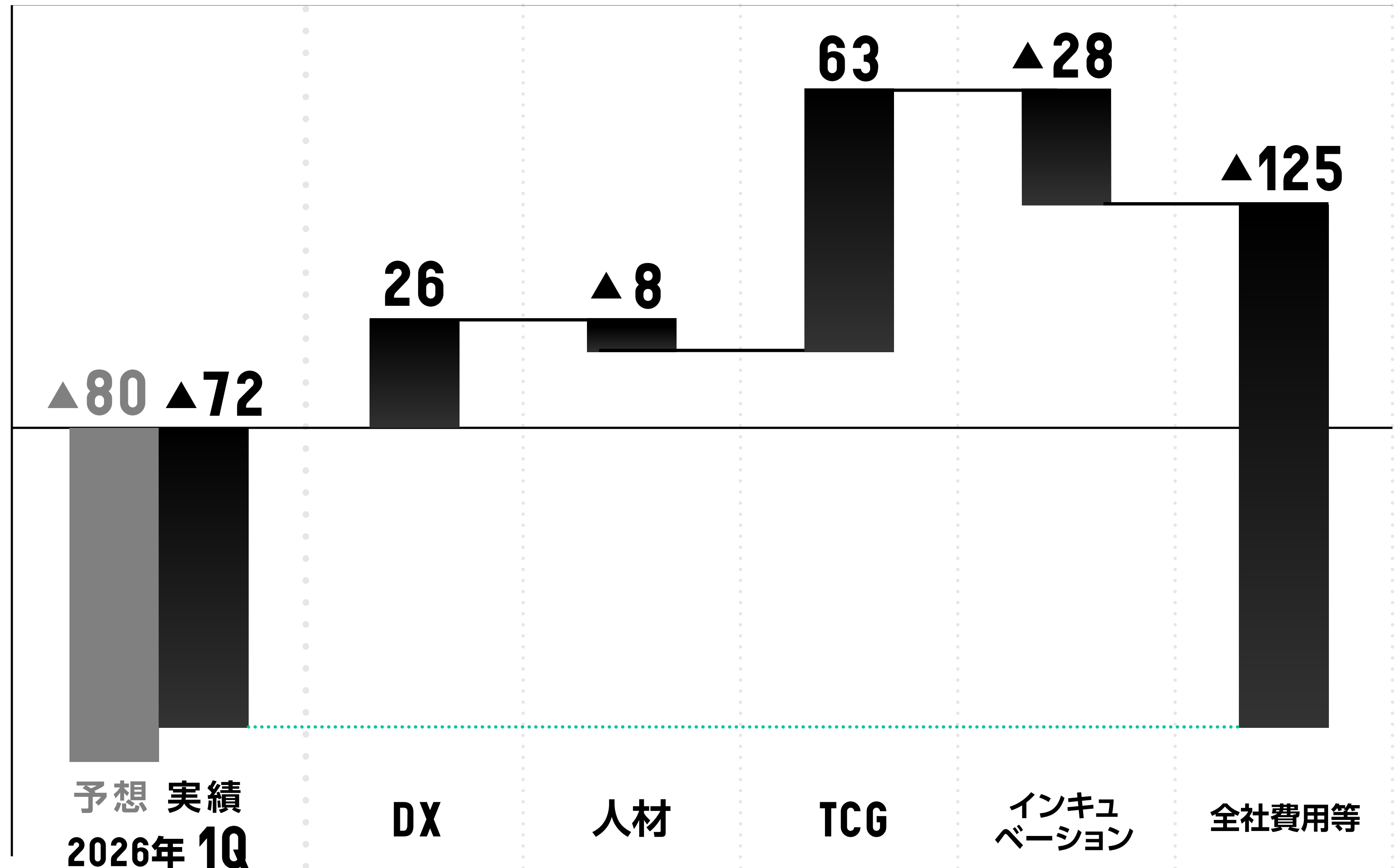
連結業績および セグメント業績

コメント

各事業は概ね順調に推移し、
全体としては予想される赤字幅
を抑える結果となった

1Q 会計期間 営業利益

単位：百万円



※売上収益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績
※連結業績・セグメント業績は百万円以下切り捨て

CONTENTS

- エグゼクティブサマリー
- スカラグループについて
- 連結 業績報告
- セグメント別 業績報告**
- トピックス

セグメント別 2026年6月期 通期予想比グラフ

コメント

スカラコミュニケーションズにおける月額ストックの増加が売上・利益に寄与

エッグはふるさと納税のポイント廃止による駆け込み需要の影響で計画値に対して赤字幅が抑えられた

※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

DX事業

単位：百万円

売上

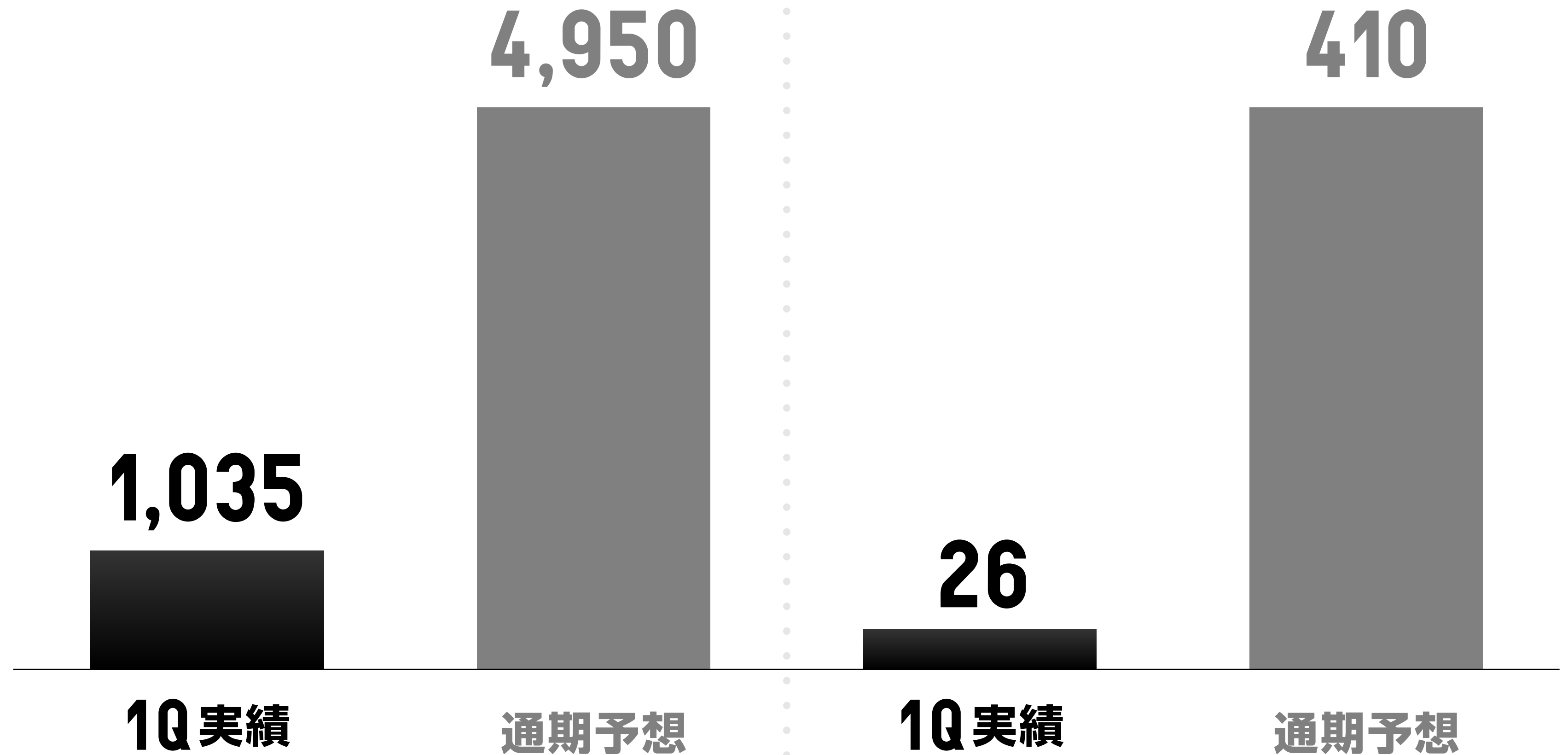
進捗率

20.9%

営利

進捗率

6.3%



セグメント別 2026年6月期 各種KPI

コメント

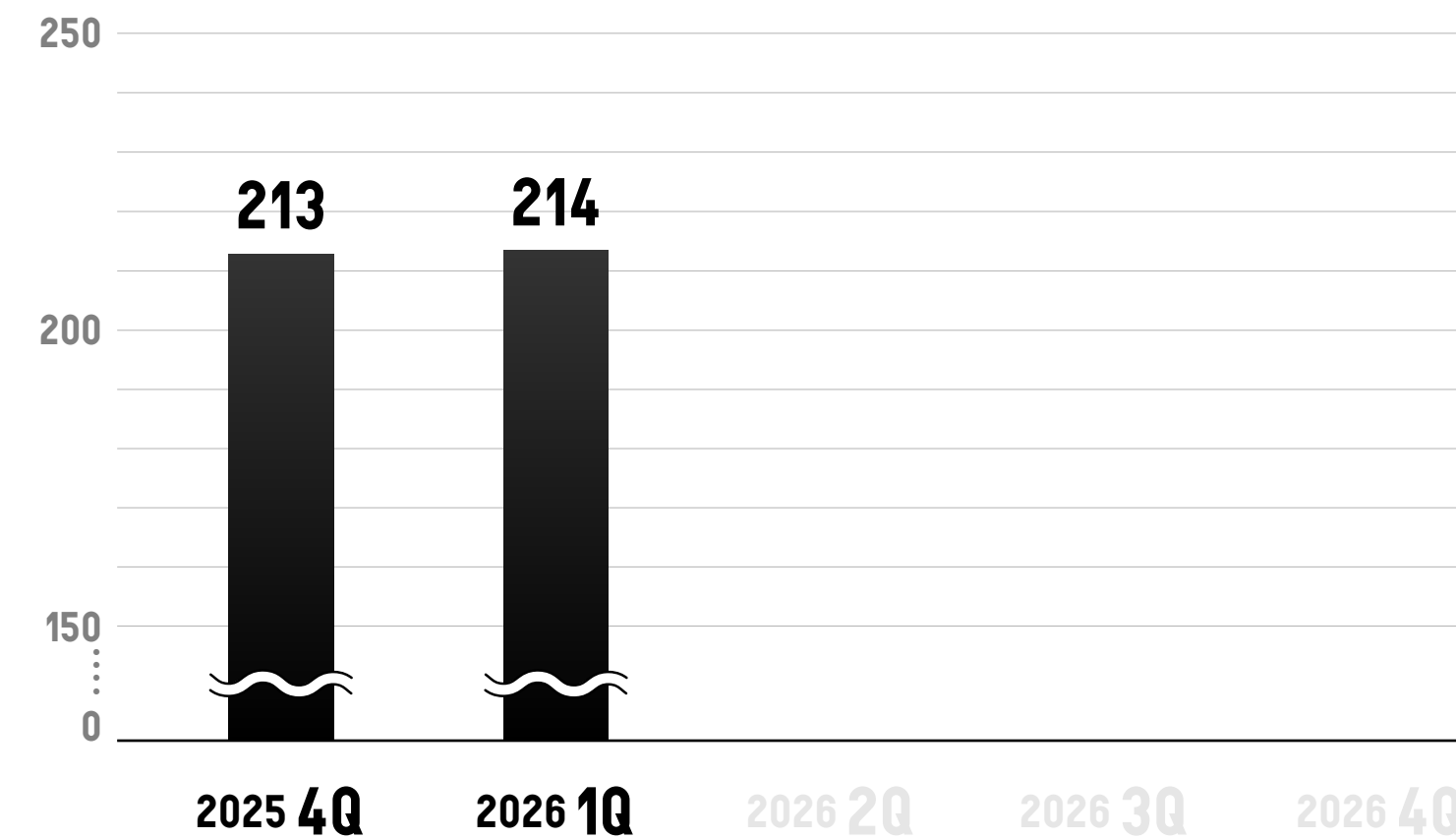
MRRおよびARRはほぼ横ばい

顧客アカウント数は増加しているものの、ふるさと納税ポイント廃止による駆け込み需要の影響が大きく、業績への継続的な影響は見込まれず

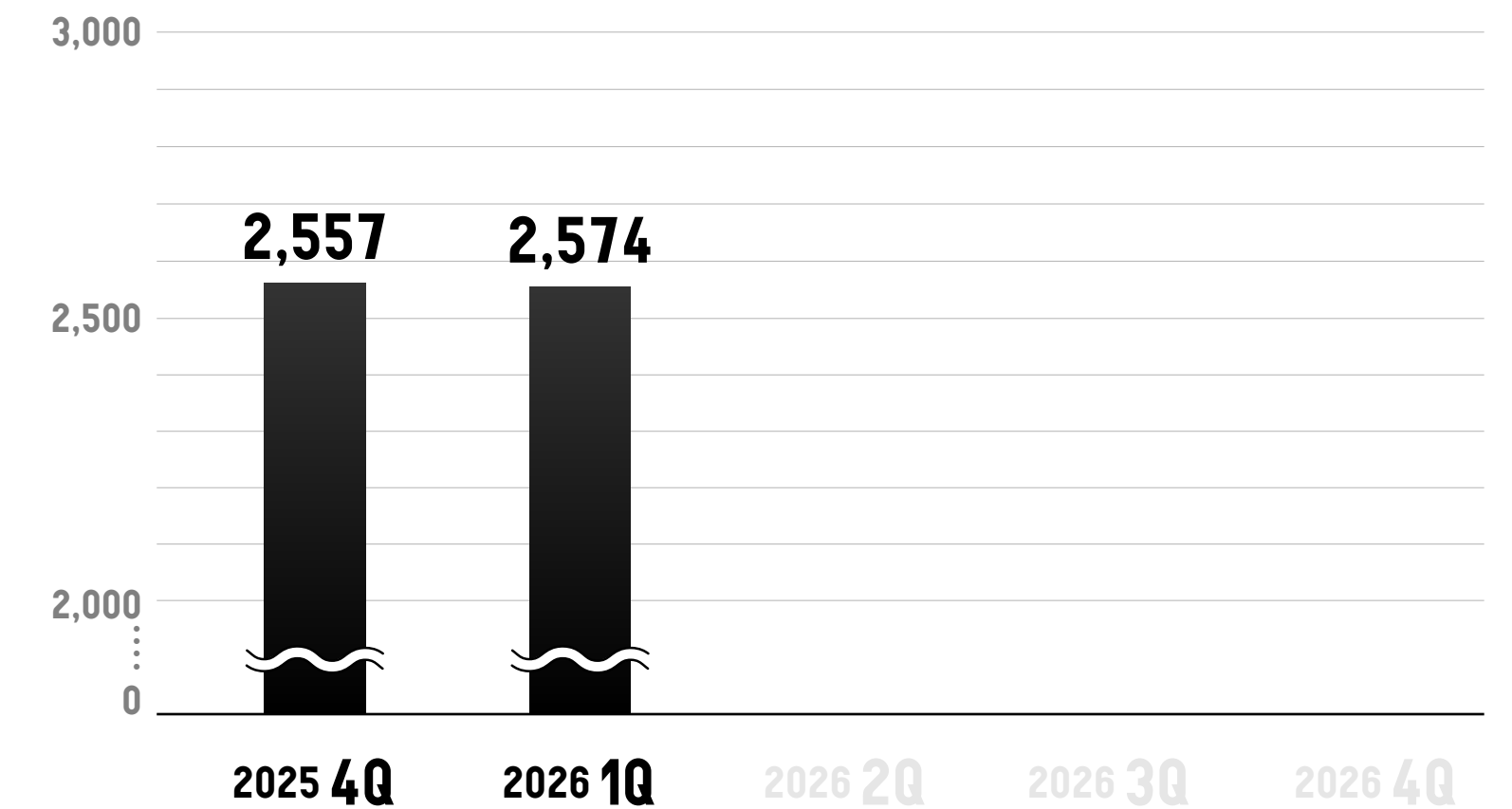
※会員数は各四半期の最終月、
他指標は各四半期会計期間中の平均値

DX事業

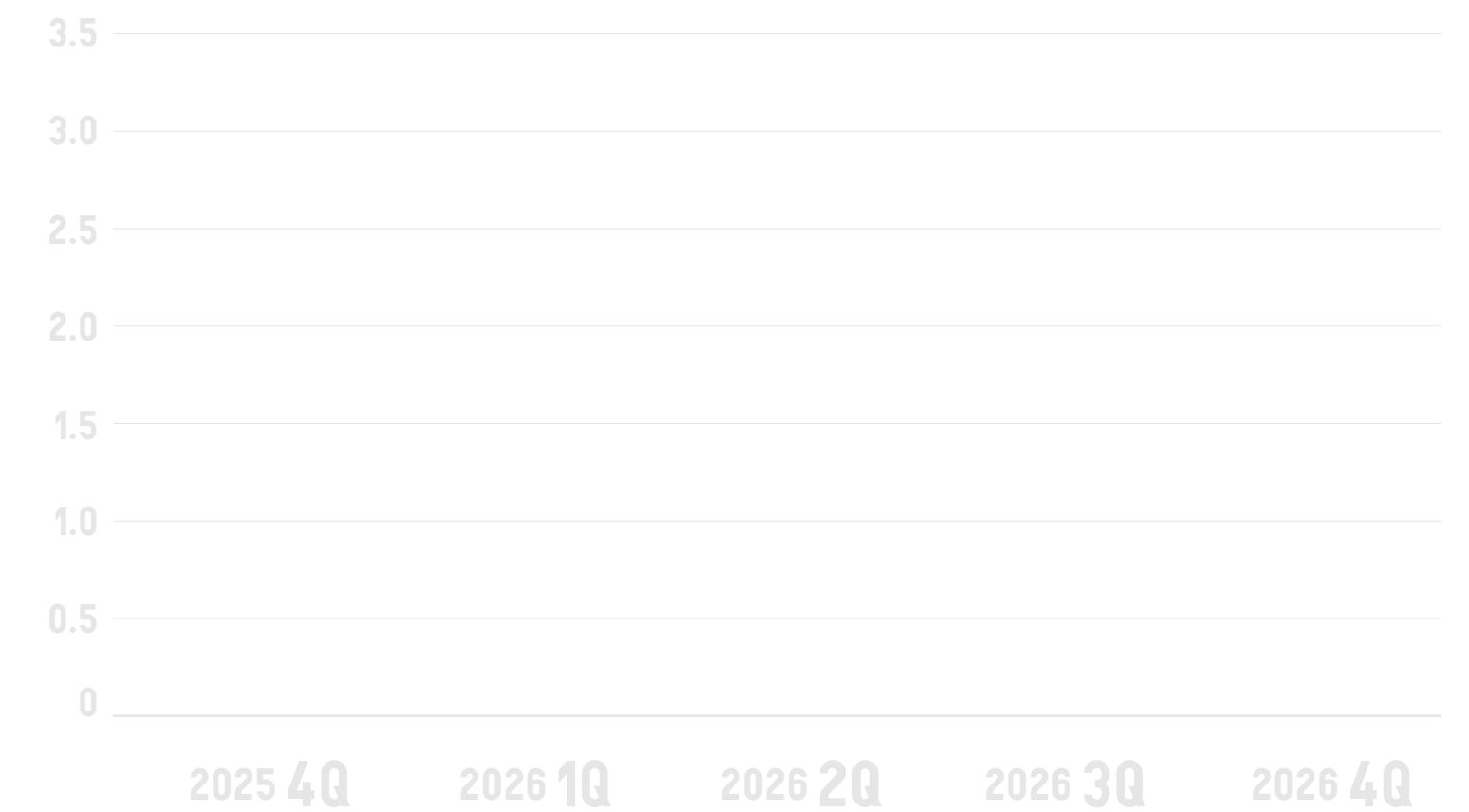
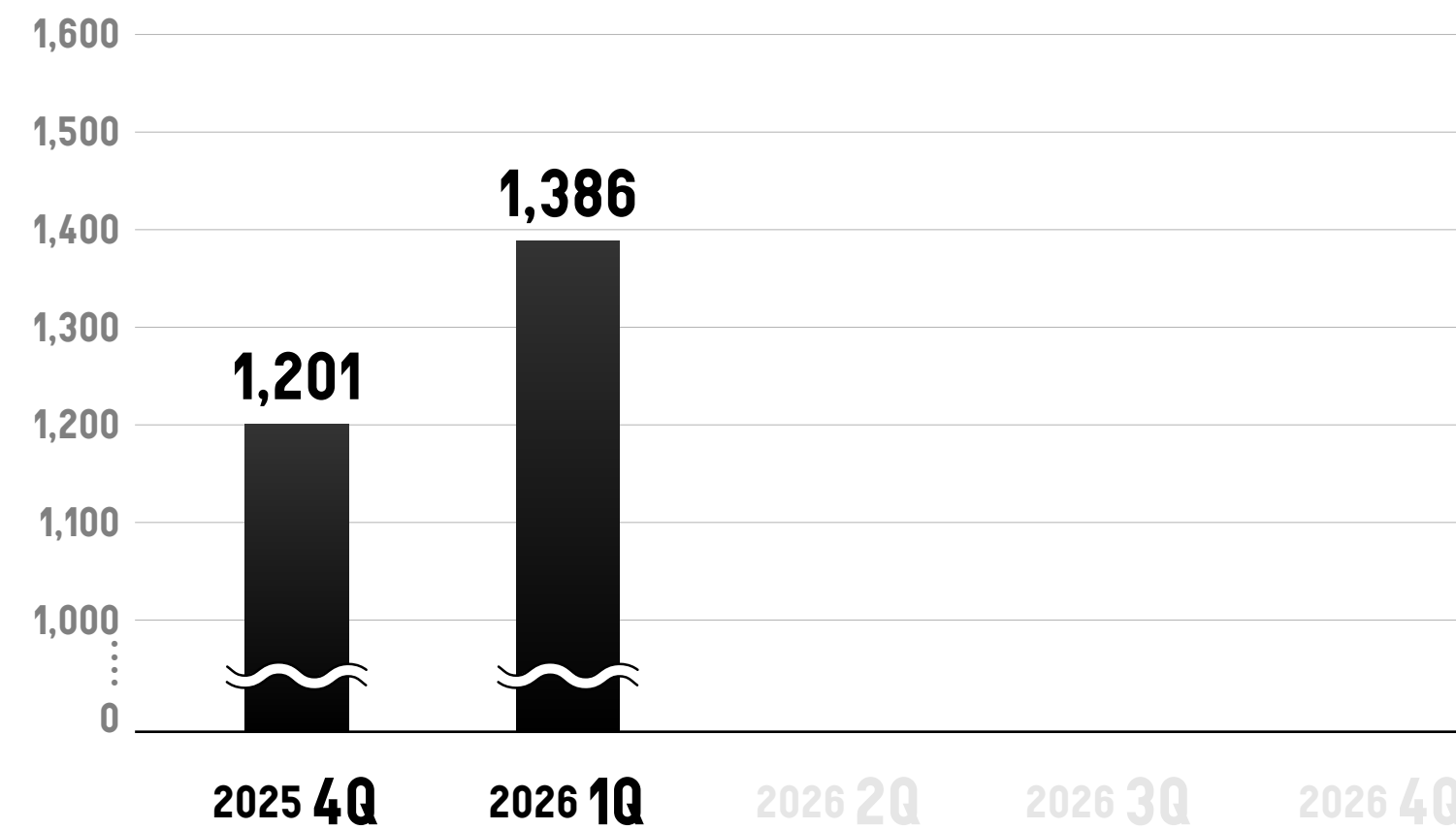
MRR (単位: 百万円)



ARR (単位: 百万円)



顧客アカウント数



セグメント別 2026年6月期 通期予想比グラフ

コメント

イベント事業および中途採用
領域が好調に推移

前期の人材不足による会員数減
が影響し、紹介事業は前期を
下回る結果となった

※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの
第1四半期累計実績

人材事業

単位：百万円

売上

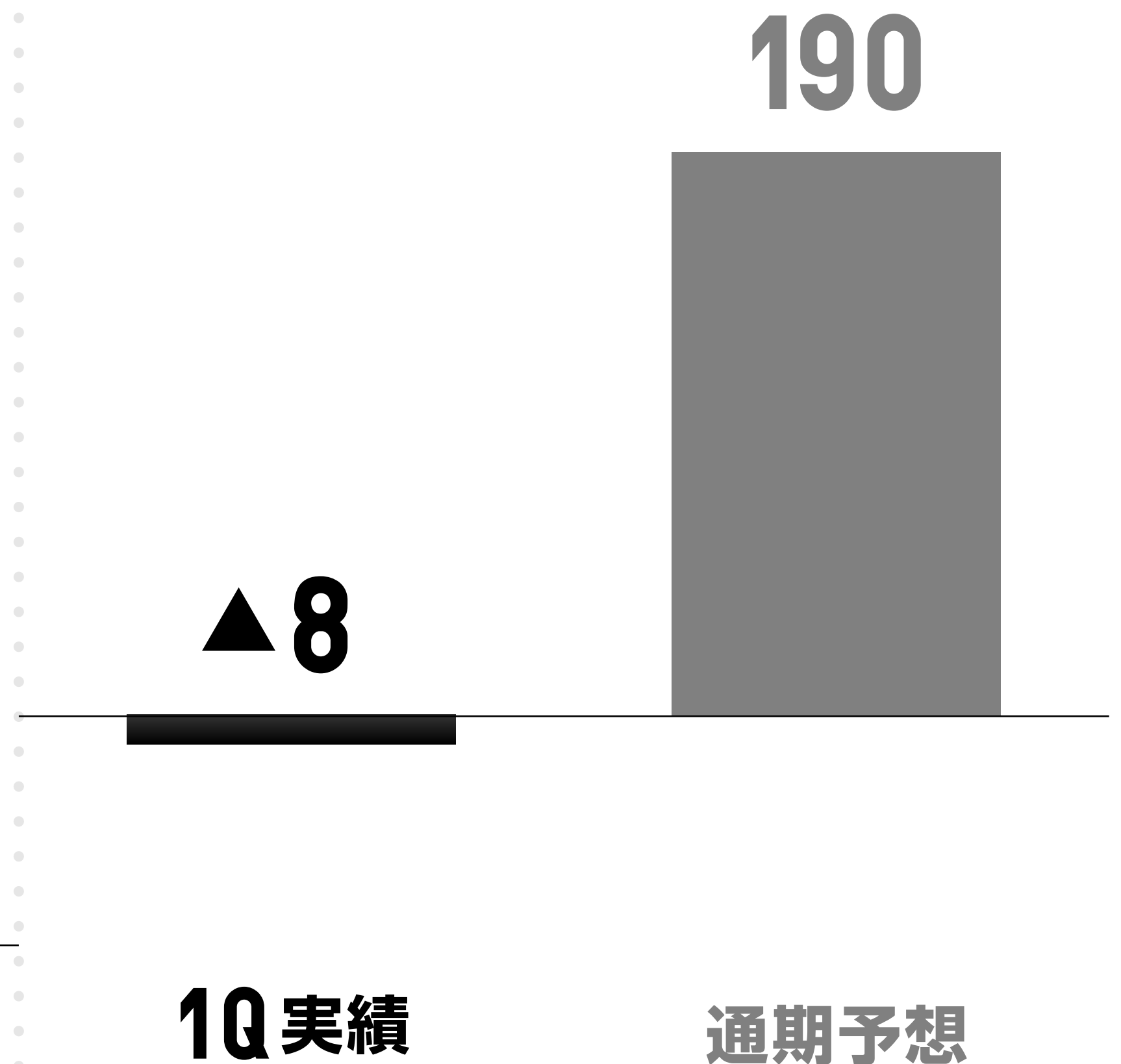
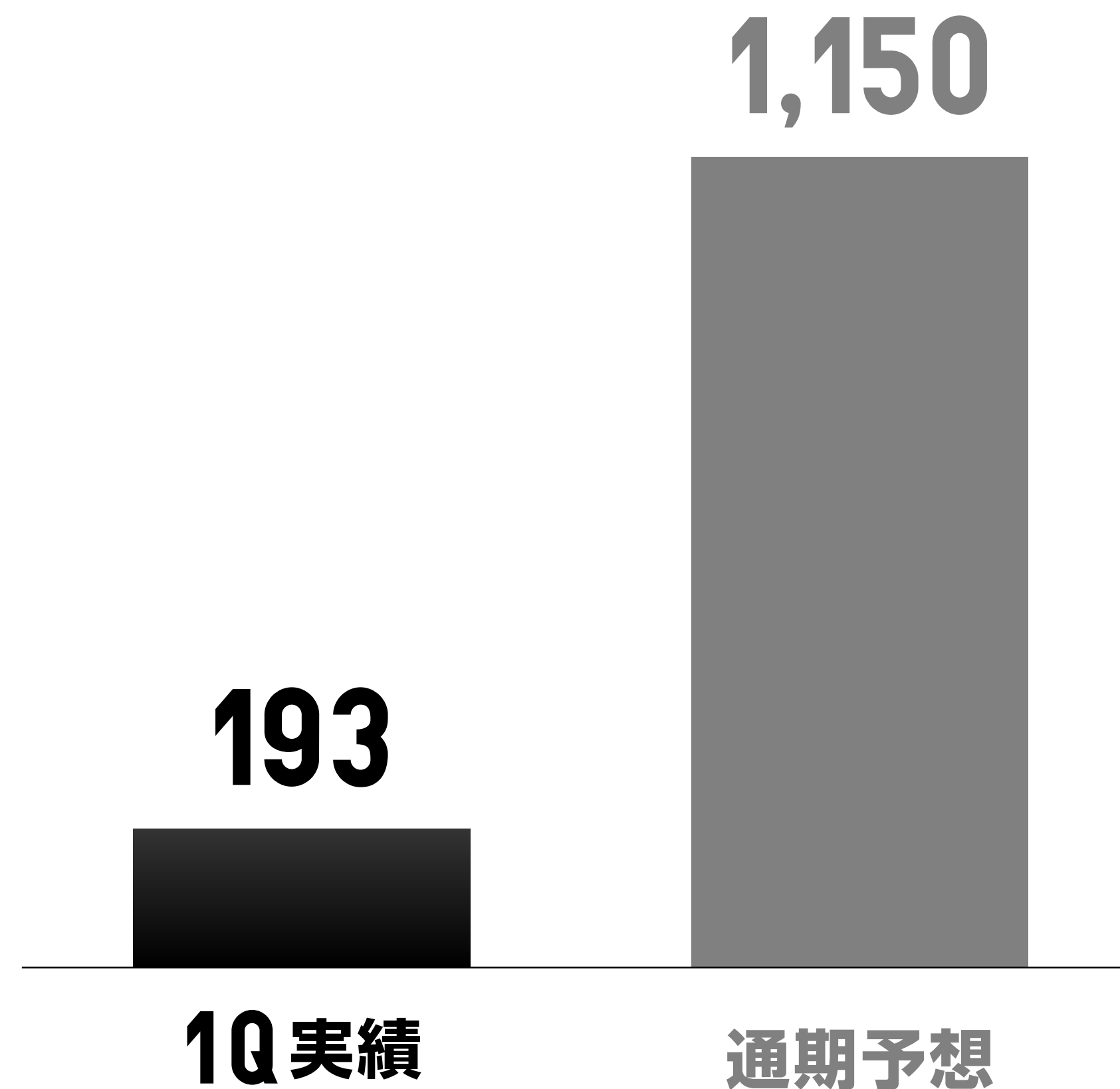
進捗率

16.8%

営利

進捗率

—



セグメント別 2026年6月期 各種KPI

コメント

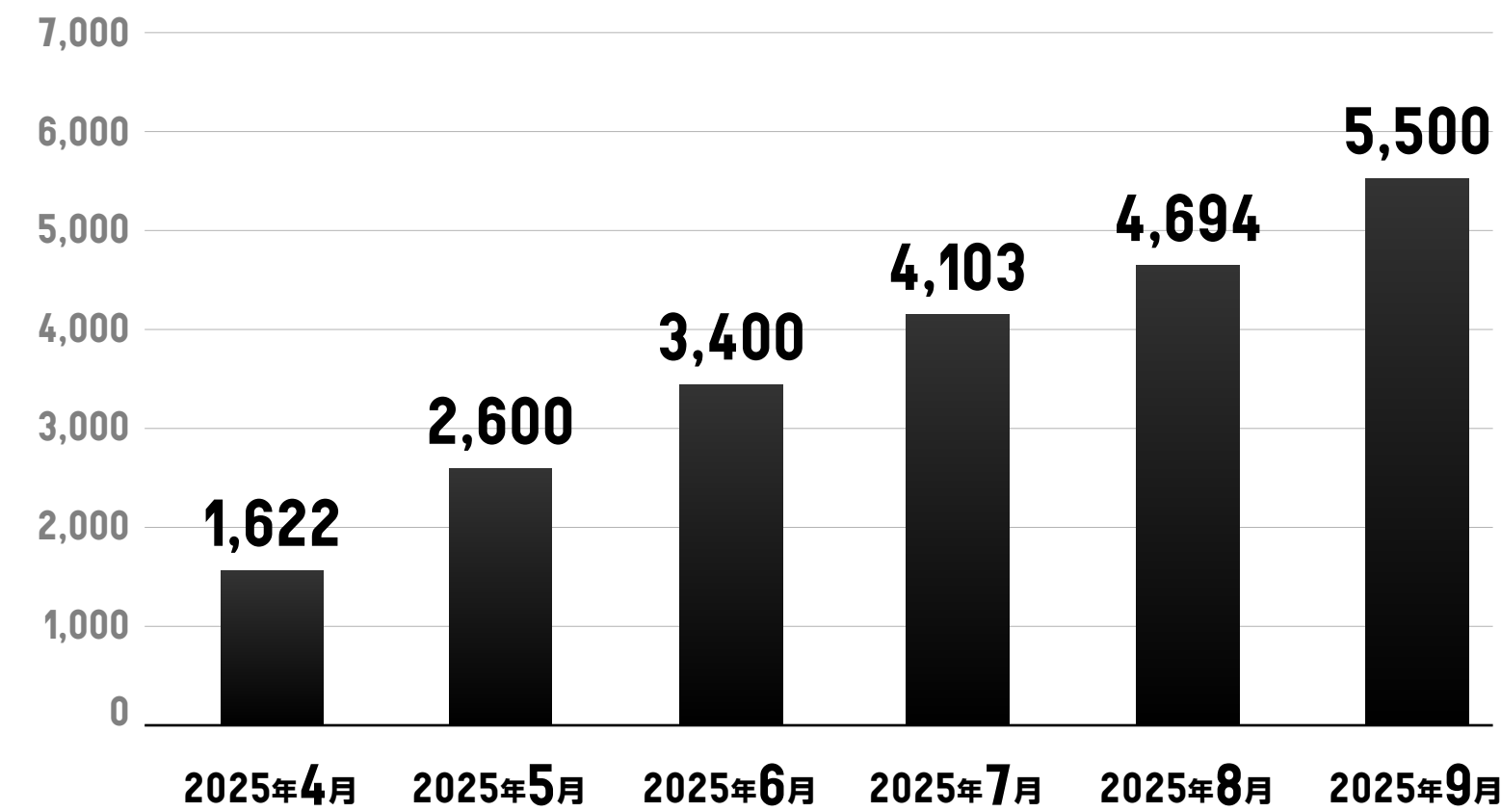
主に今期3Q～来期1Qに影響

女子キャリ会員数は7月から大幅に増加しており、さらなる増加を図る

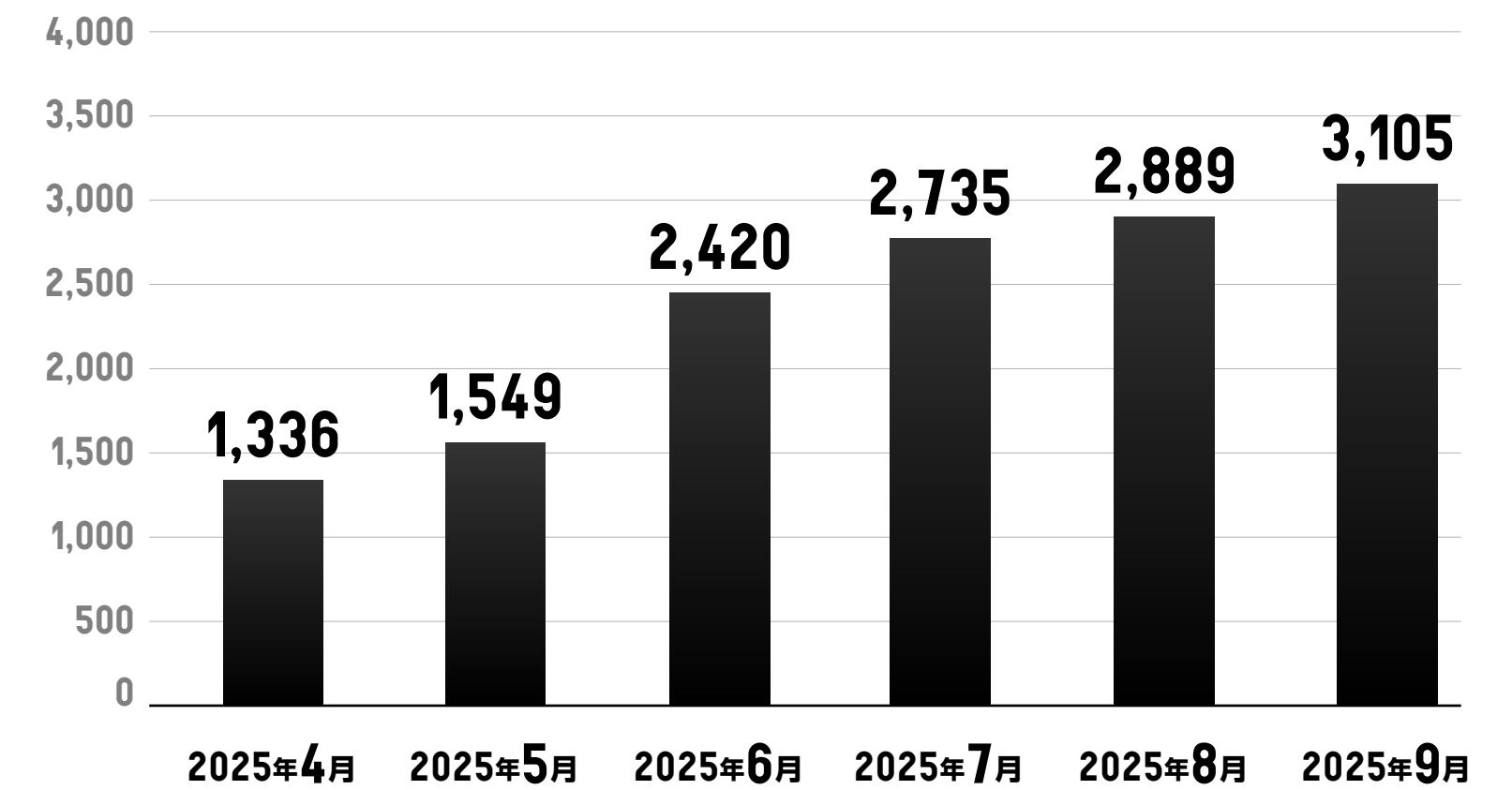
人材事業

体育会学生紹介(地域別)・女子キャリの27年卒会員数推移

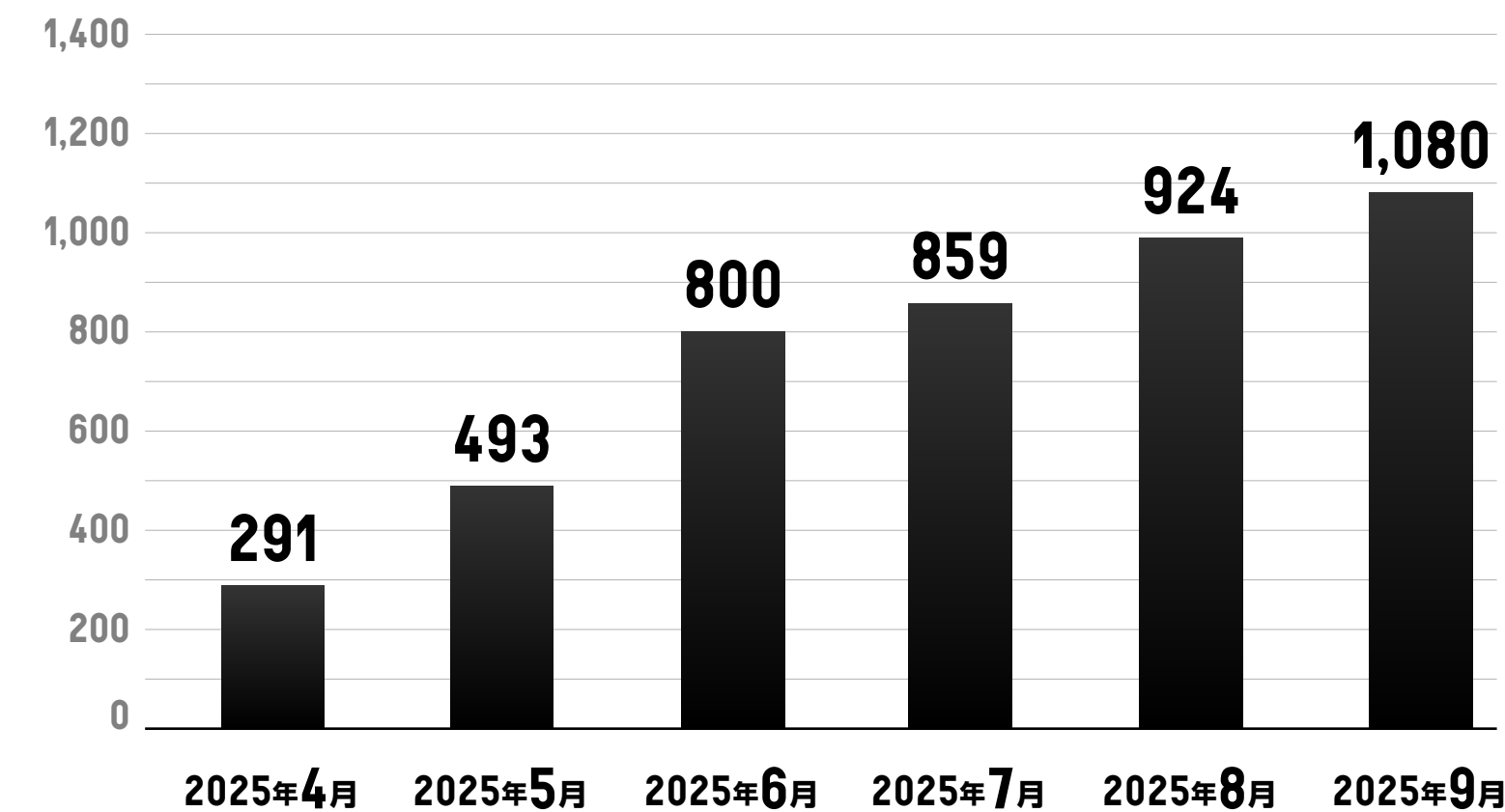
アスプラ(東京)



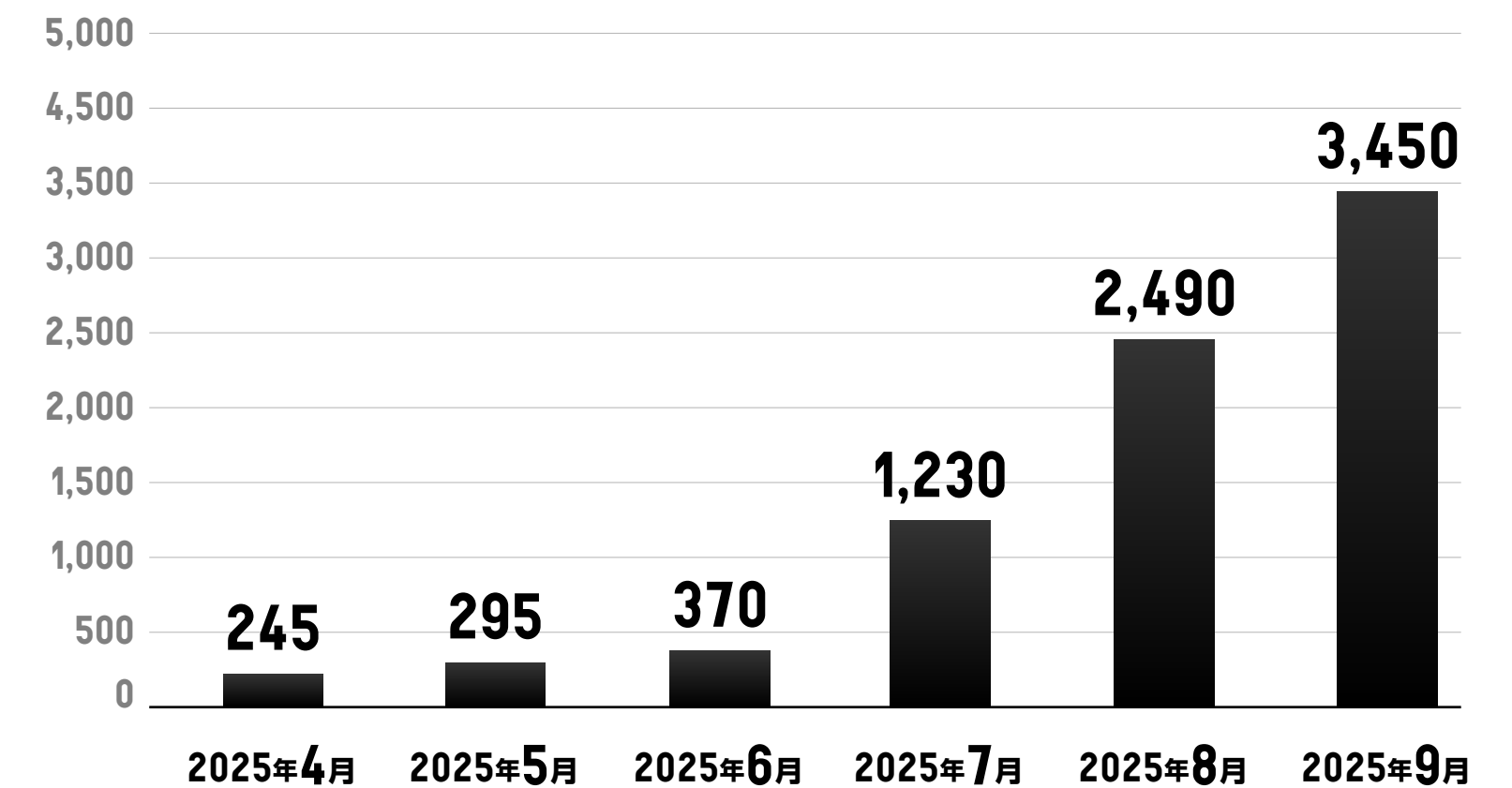
アスプラ(関西)



アスプラ(東海)



女子キャリ



セグメント別 2026年6月期 通期予想比グラフ

コメント

各種タイトルが順調に推移

システム改修・改善および画像
認識AIソリューションの導入
推進によりコストが増加

※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの
第1四半期累計実績

TCG事業

単位：百万円

売上

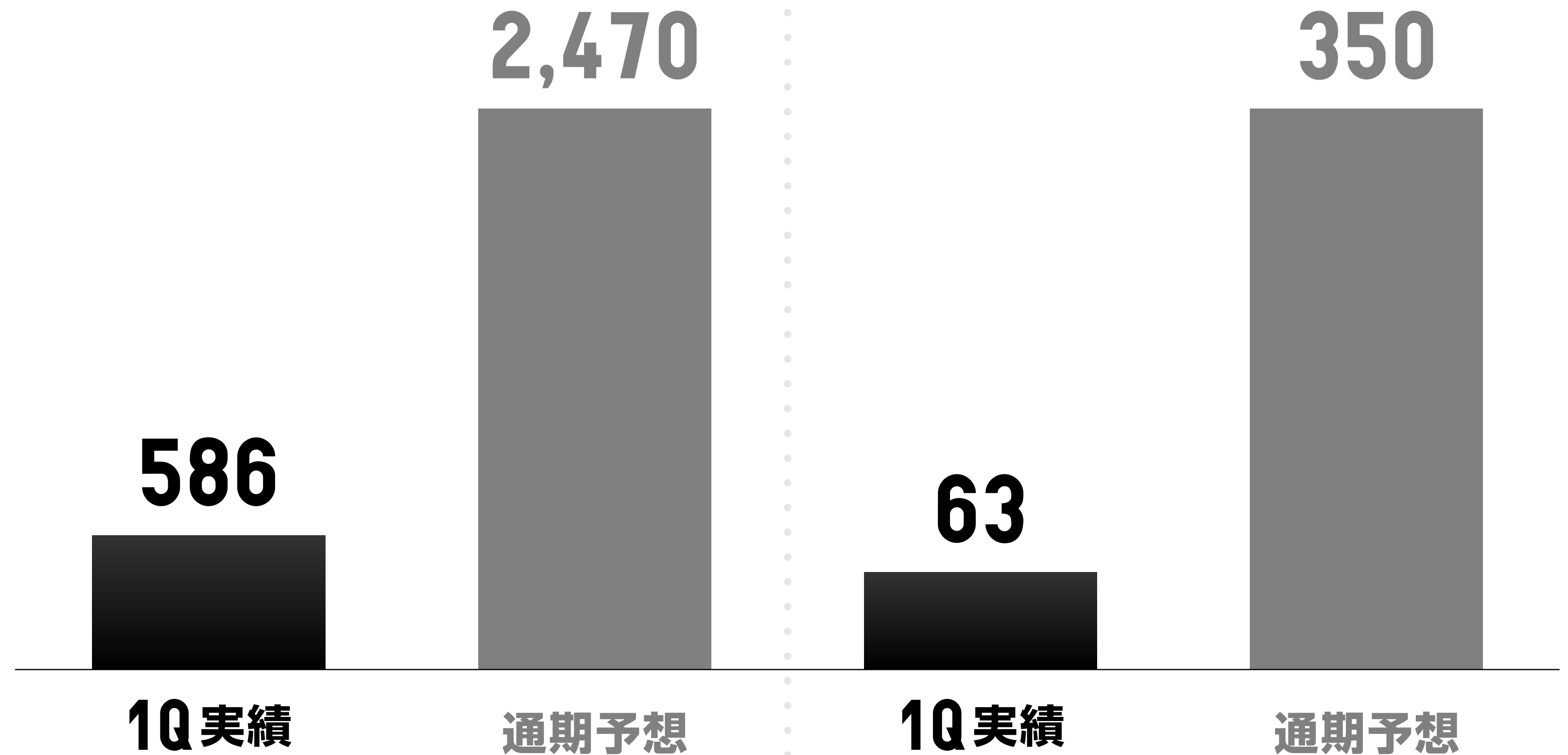
進捗率

23.7%

営利

進捗率

18.0%



セグメント別 2026年6月期 各種KPI

コメント

会員数・購買単価は順調に推移

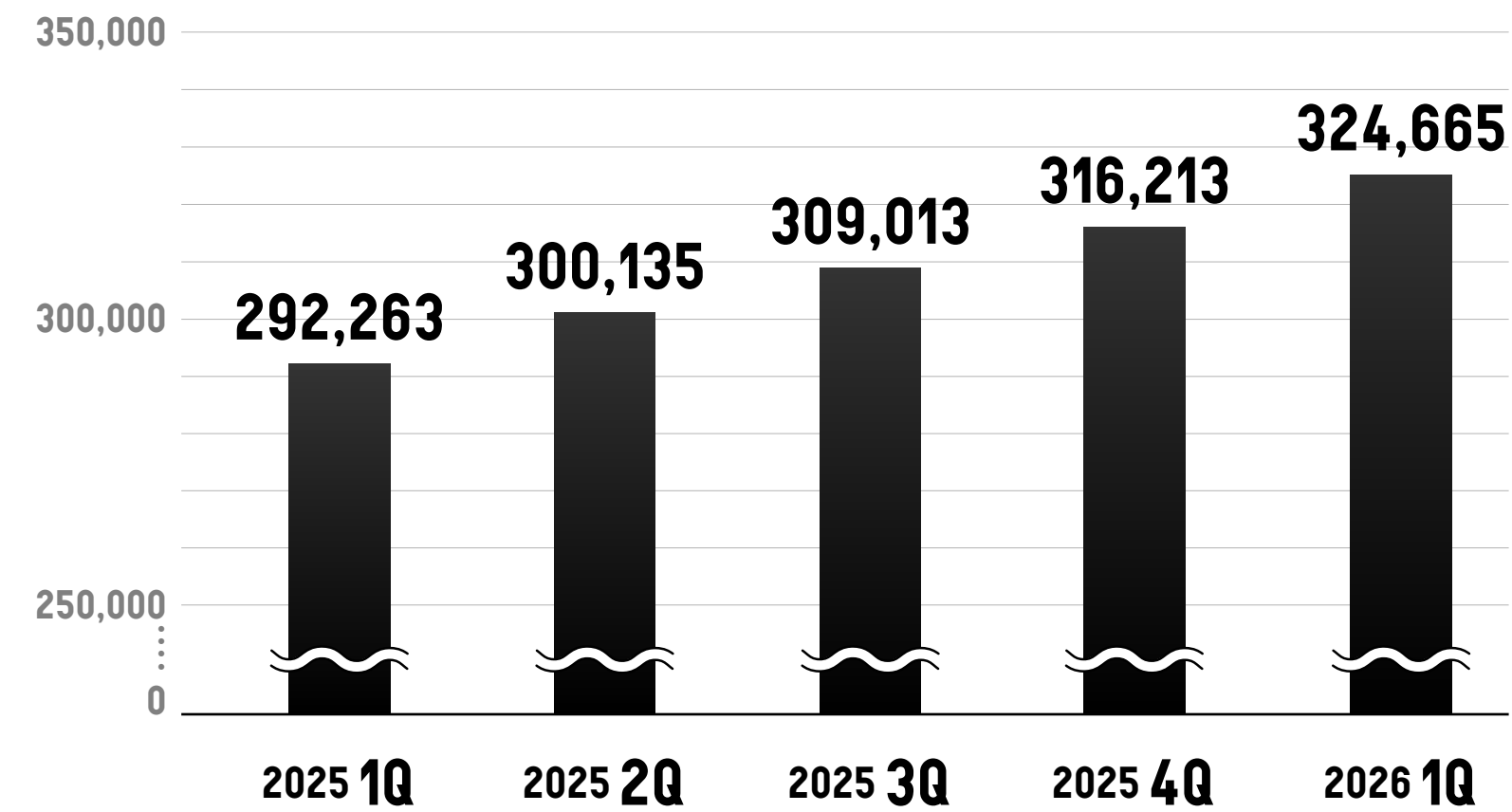
月間平均PV数の推移は上下があるものの過去1年間で最多となった

海外直販比率はさらなる増加を図る

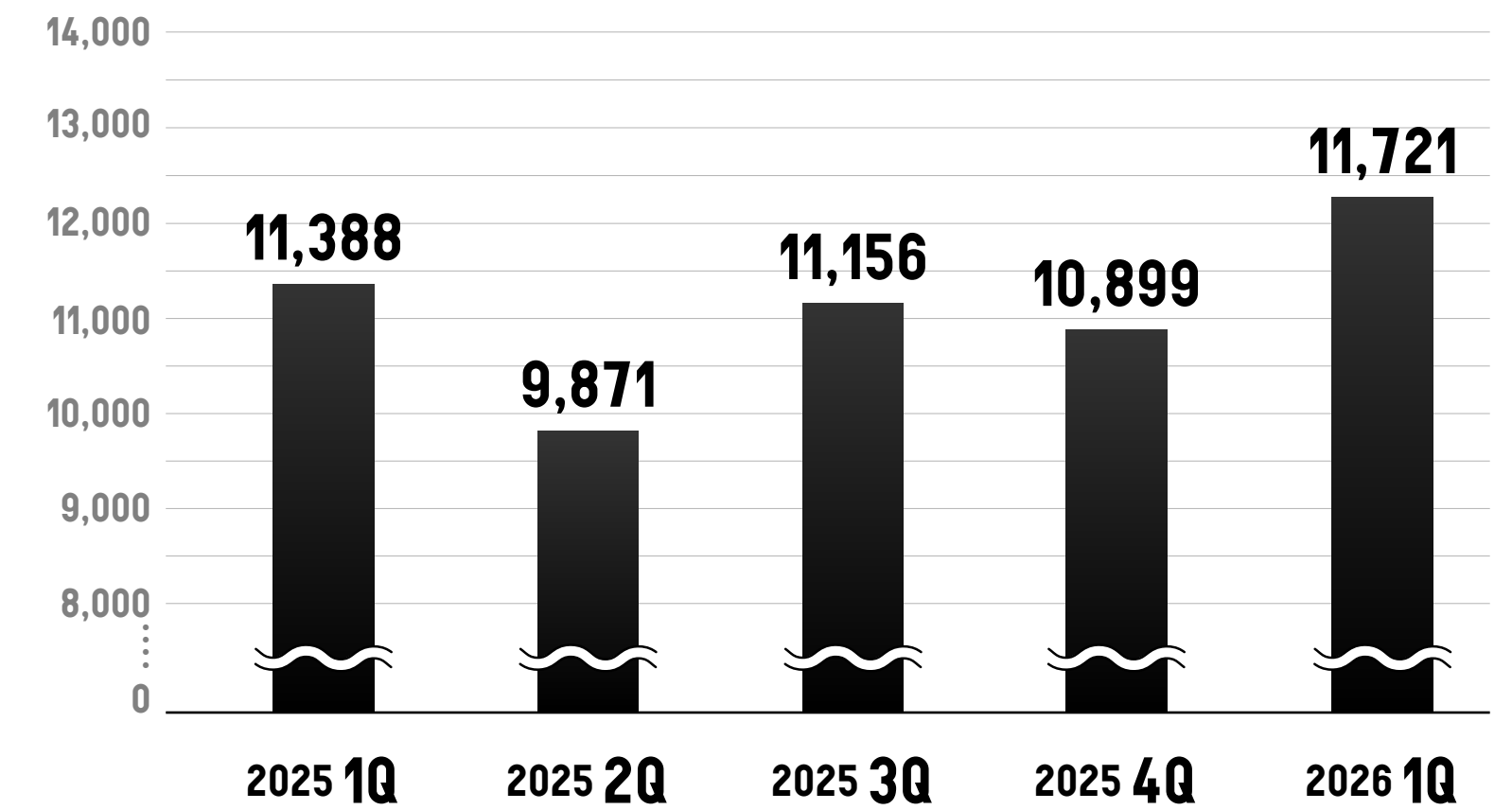
※会員数は各四半期の最終月、
他指標は各四半期会計期間中の平均値

TCG事業

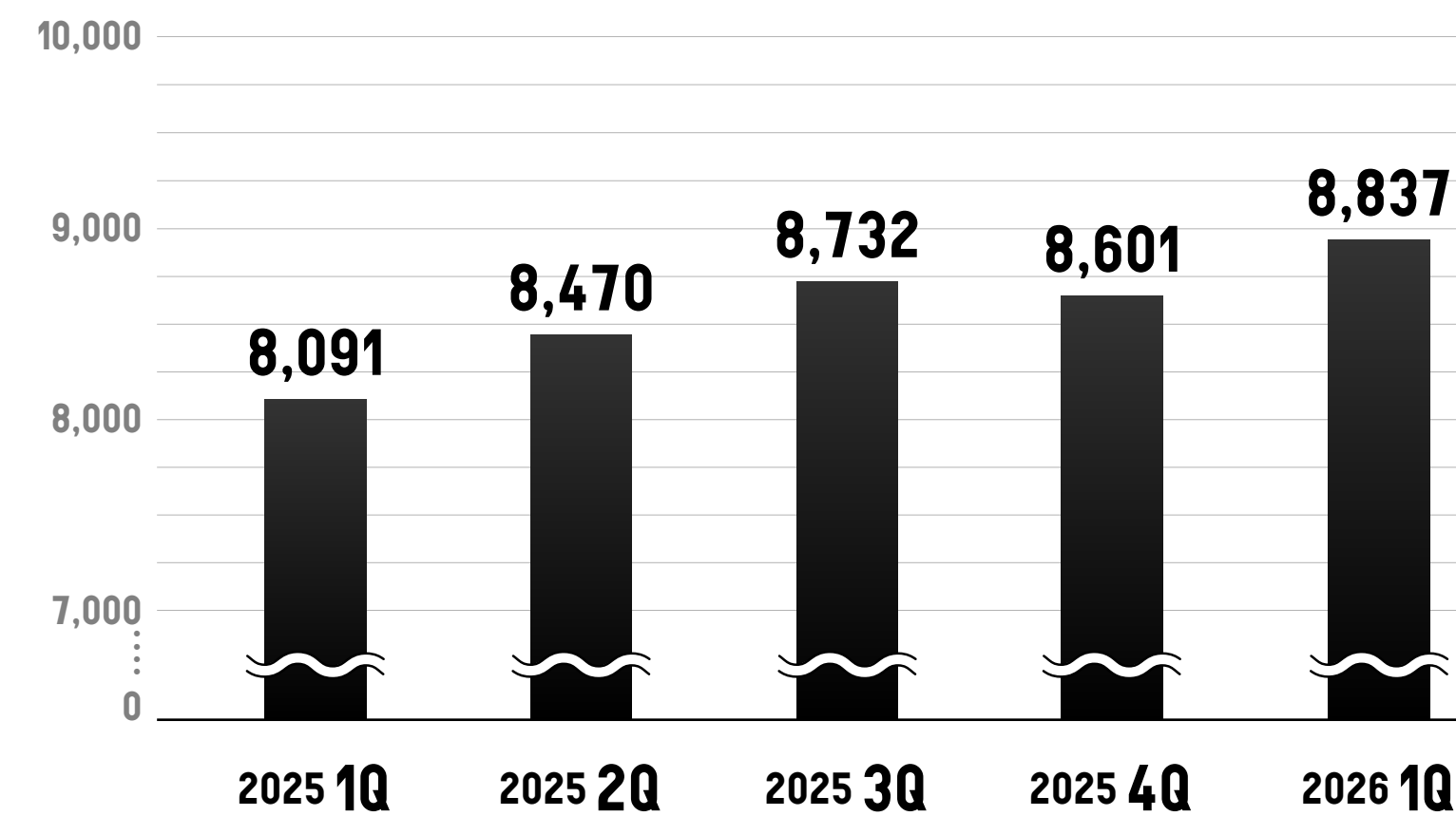
会員数(人)



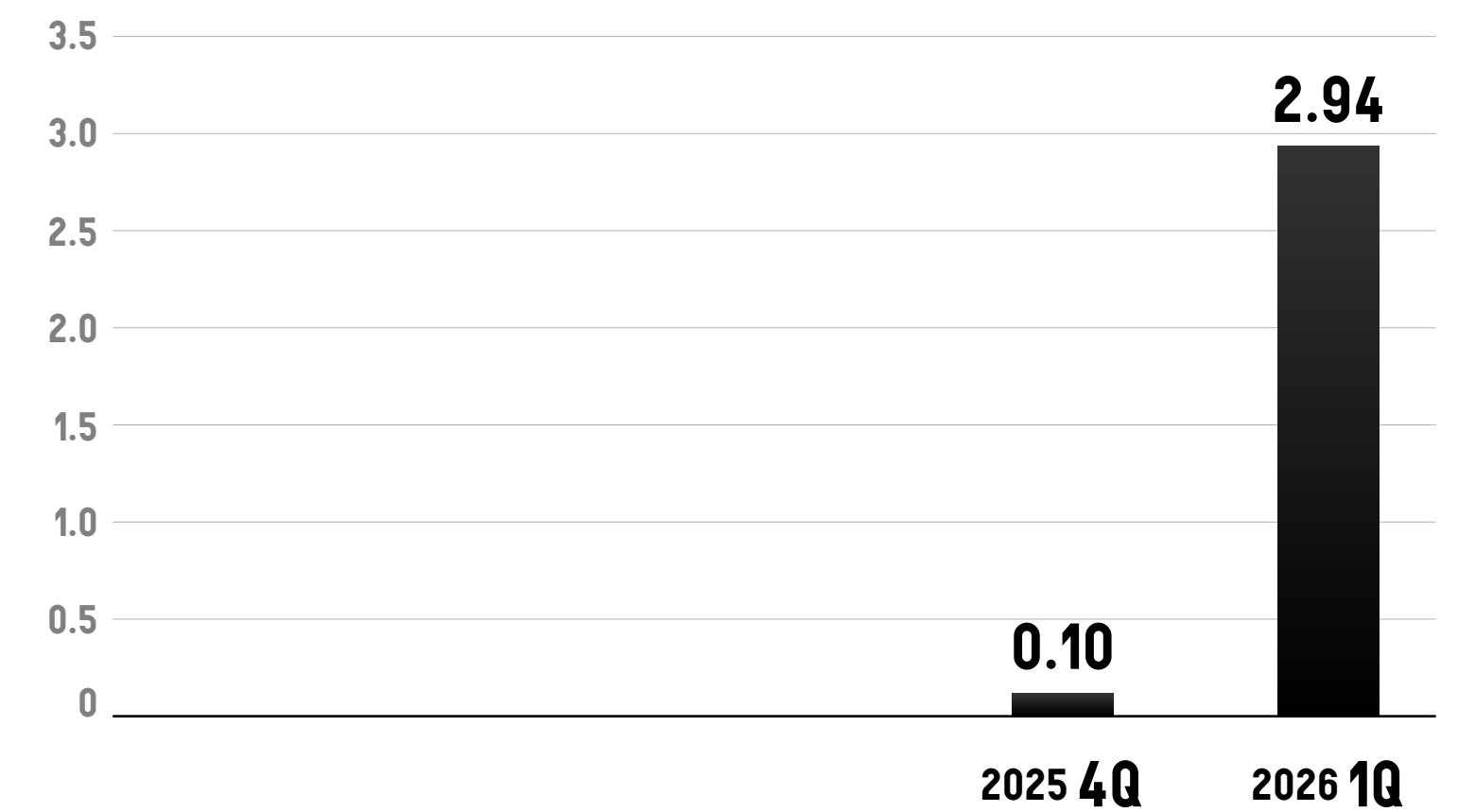
月間平均PV数(千件)



購買単価(円)



海外直販率(%)



セグメント別 2026年6月期 通期予想比グラフ

コメント

1Q売上減少の一因となったソーシャル・エックスにおける一部案件の期ずれは期中での影響はなし

P25以降に掲載されているトピックスの通り、各種大型案件は順調に進捗

※売上収益・営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

インキュベーション事業

単位：百万円

売上

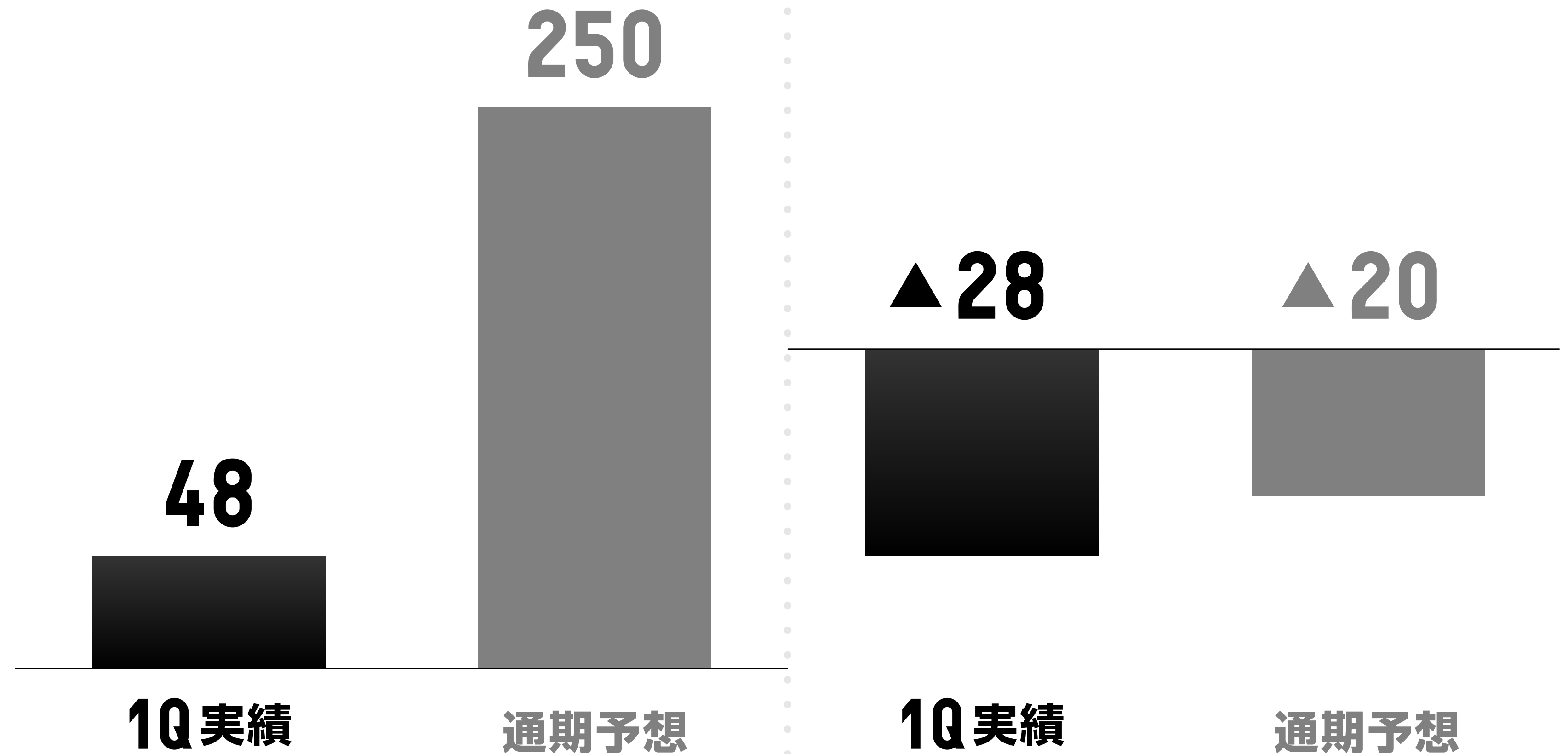
進捗率

19.2%

営利

進捗率

—



セグメント別業績報告 売上収益

単位：百万円 ※売上収益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

事業	今期 1Q	前期 1Q	前年同期差	前年同期比
DX	1,035	1,042	▲ 7	▲ 0.7%
人材	193	189	3	2.0%
TCG	586	562	24	4.3%
インキュベーション	48	54	▲ 5	▲ 10.1%

セグメント別業績報告 営業利益 本社費配賦後

単位：百万円

※営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

事業	今期 1Q	前期 1Q	前年同期差	前年同期比
DX	26	105	▲78	▲74.9%
人材	▲8	3	▲11	—
TCG	63	78	▲15	▲19.4%
インキュベーション	▲28	▲28	0	—

セグメント別業績報告 営業利益 本社費配賦前

単位：百万円

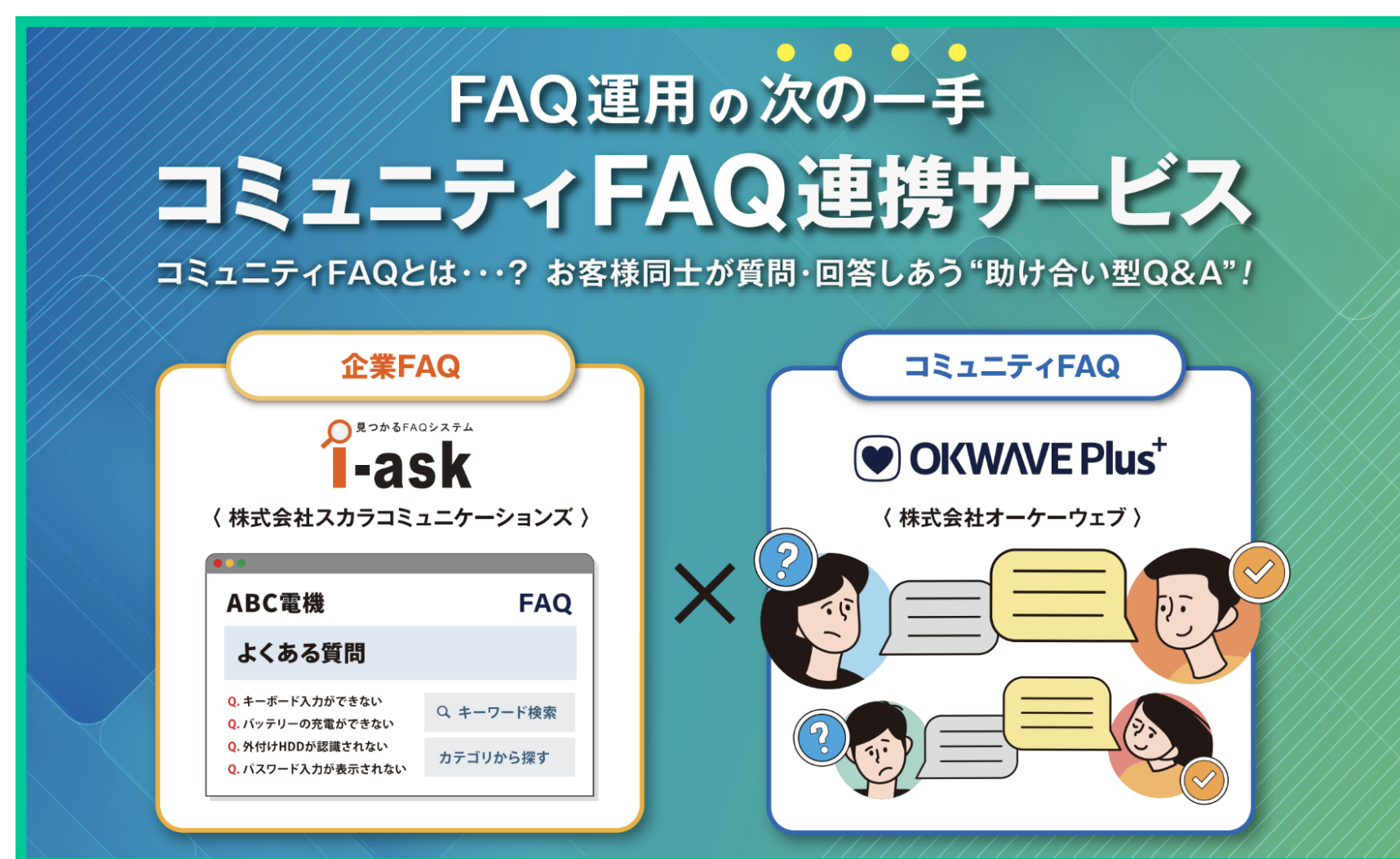
※営業利益の数値は、IFRSベースの第1四半期累計実績

事業	今期 1Q	前期 1Q	前年同期差	前年同期比
DX	78	153	▲74	▲48.4%
人材	12	23	▲10	▲44.9%
TCG	73	91	▲18	▲20.0%
インキュベーション	▲26	▲28	2	—

CONTENTS

- エグゼクティブサマリー
- スカラグループについて
- 連結 業績報告
- セグメント別 業績報告
- トピックス

FAQサイトとコミュニティFAQ連携サービスのPRと受付を開始



- 株式会社オーケーウェブが提供している、コミュニティFAQと連携
- スカラコミュニケーションズが提供するi-askと、コミュニティFAQを連携することで、ユーザーは企業FAQと、ユーザー同士が集まるコミュニティFAQの両方から情報を得る事が出来る
- 株式会社オーケーウェブとの共催で、説明会ウェビナーを実施

詳細はこちら

<https://scala-com.jp/news/2025/2025-1009okwave/>

コールセンター/CRM デモ&コンファレンス 2025 in 東京に出展

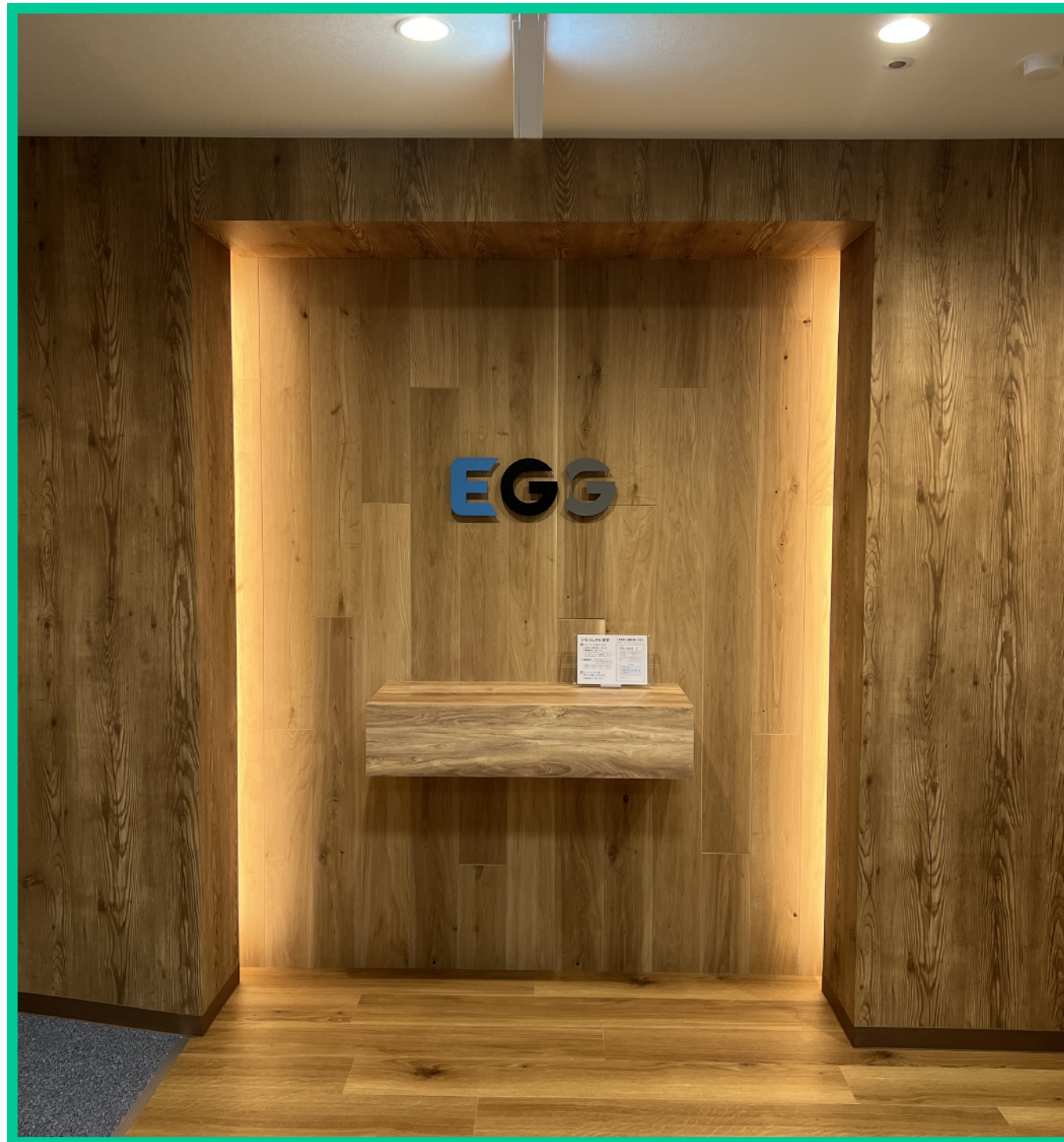


- 11月13・14日に開催されるサンシャインシティ・文化会館ビルで開催される「コールセンター/CRM デモ&コンファレンス 2025 in 東京(第26回)」に出展
- AIと人の力を最適に組み合わせ、お問い合わせ業務の効率化と生産性向上を実現する4つのサービスをデモンストレーションや事例を交えてご案内

詳細はこちら

<https://scala-com.jp/news/2025/2025-11event/>

エッグ：2025年10月に本社オフィスを移転



- 部門間の連携強化と経営効率の向上の為、これまで部署ごとに分かれていたオフィスをワンフロアの新本社に集約
- あわせて、効率性向上の為、BPO事業の印刷業務に特化した「両三柳事業所」を新設

詳細はこちら

https://egg.co.jp/news/news_20251010.html?20251011

「ソーシャルXアクセラレーション powered by MUFG」 逆プロポによるスタートアップと自治体のマッチング31件が成立



- 三菱UFJ銀行株式会社(以下、三菱UFJ銀行)、三菱UFJ信託銀行株式会社(以下、三菱UFJ信託銀行)と共に、スタートアップを支援するプログラム「MUFG推しごとクラウドファンディング」を運営
- 「逆プロポ」での募集を行い、31件のマッチングが成立

詳細はこちら

<https://scalagr.jp/news/2025/2025-10-slx-1/>

「社会課題×AI」で未来をつくる — アイデア共創プラットフォーム「Voice」リリース



- 「社会課題×AI」のアイデア共創プラットフォーム「Voice」のサービス提供を開始
- 課題起点のビジネスアイデア生成のサービス提供により、新規事業を検討いただいている企業へ、ビジネスアイデアを毎月最大2,500件提供
- 「社会課題×AI」のアイデア共創プラットフォームで、現在特許申請中

詳細はこちら

<https://scalagr.jp/news/2025/2025-10-slx-2/>

SHIBUYA QWSと社会課題起点の起業家育成へ ～新プログラム『ソーシャルXスタジオ』を始動～



- インパクトスタートアップの裾野拡大を目的とし、大学生・高専生・企業内イントレプレナー候補者を対象とした新プログラム「ソーシャルXスタジオ」を開始
- 東京都の協定事業を活用し、SHIBUYA QWSとのコラボレーションにて展開

詳細はこちら

<https://scalagr.jp/news/2025/2025-10-slx-3/>

SOCIALX トピックス

官民共創型「ソーシャルXインパクトファンド」 2025年グッドデザイン賞を受賞



- 株式会社QRインベストメントと共同GPとして設立・運営する官民共創型インパクト投資ファンド「ソーシャルXインパクトファンド」が2025年度グッドデザイン賞を受賞
- 休眠預金を活用した社会課題解決の“革新的な金融スキーム”など、官民共創やインパクト投資に対する認知・理解増進に向けて取り組みを行う

詳細はこちら

<https://scalagr.jp/news/2025/2025-10-slx-4/>



決算説明資料 1Q FY2026

本資料には将来の予測に関する記述が含まれておりますが、それらの記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。

様々な要因の変化等により、実際の業績とは異なる可能性がありますことを御承知おき下さい。

本資料の作成に当たっては、記載されている情報に誤り・遺漏等が無いよう細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性および完全性を保証するものではありません。

本資料は監査法人による会計監査を受けておりません。